



第8回

安全な投資をするために②

長期投資と積立投資



渋沢 英子



津田 桜子



北里 三郎



とうしくん

渋沢 お金の疑問にパキッと回答、「お金なんでも相談室」。ナビゲーターの渋沢英子です。

北里 北里三郎です。

津田 津田桜子です。

津田 / 北里 よろしくお願ひします！

渋沢 今日の質問いってみましょう！

津田 視聴者からメールをいただきました。「『株式投資は、長い期間をかけて行うのが大切だ』って聞いたことがあります。これってどういうことですか？」だそうです。

渋沢 それでは順を追って説明しますね。
株式の価格、これを株価といいます。株価は日々変動するので、値上がりすることもあるれば、値下がりすることもあります。
ですから、今は値下がりしていても、いずれ値上がりすることもあるかもしれません。
つまり、短期的な動きに惑わされずに、値上がりするまで長い期間じっくり待つのが良いということですね。
このような考え方を**長期投資**といいます。この考え方はとても重要です。

北里 長期ってどのぐらい待てばいいんですか？

渋沢 一概にはいえませんが、10年単位で考えることが多いですね。

津田 でも日々の価格が変動しているじゃあ、どのタイミングで買うのが一番いいかわかりません。

渋沢 そうですね。いつ上がって、いつ下がるのか、株価の動きを予想するのは難しいです。いつ買えばいいのかわからない場合、時期を分けて購入する積立投資が効果的です。

北里 積立投資？

渋沢 **積立投資**とは、定期的に一定の金額をコツコツと投資していくという方法です。このように定期的に分けて購入することを**時間の分散**といいます。

津田 どうして積立投資が効果的なんですか？

渋沢 一度に多額の投資を行うのではなく、一定の小さな金額に分けて定期的に投資することで、価格が高い時期には少なく、価格が低い時期には多く購入することができ、リスクを抑えることができるんです。

- 北里 え～、本当かなあ？
- 渋沢 実際にシミュレーションしてみましょう。
3人でそれぞれ A 社の株式を 120 万円分購入するとします。三郎さんと桜子さんは、1 回でまとめて投資し、私は積立投資をします。三郎さん、桜子さん、株式を購入する月を決めてください。
- 北里 僕は 9 月に買います。
- 津田 私は誕生月の 4 月にします。
- 渋沢 これが A 社の株価の変動です。お二人はそれぞれいくらで何株買えましたか？
- 北里 僕は 1 株 1,000 円だから 1,200 株です。
- 津田 私は 1 株 400 円で 3,000 株買えました。
- 北里 え～～っ、いいなあ。
- 渋沢 では、私は毎月 10 万円ずつ買っていきますよ。1 月は 250 株、2 月は 200 株、3 月も 200 株買えました。
そして……12 月末の段階で 2,000 株購入できました。1 株の平均購入価格は 600 円です。
桜子さんには及びませんが、三郎さんよりは安く購入できました。一度に購入すると、桜子さんのように安いときに購入できることもあれば、三郎さんのように高いときに購入してしまう場合もあります。
私が行った、一定の金額で定期的に投資していく積立投資の方法を**ドル・コスト平均法**ともいいます。積立投資をすると、株価の変動があっても、1 株当たりの購入価格が平均化され、リスクを抑えることができます。
- 津田 そうか、この方法にすれば、1 株当たりの購入価格が平均化されるし、買うタイミングを迷わなくていいんですね。
- 渋沢 その通りです。少額でも長期にわたって積立投資をすることで将来的にまとまった資金をつくることのできるのです。
今日は、投資の安全性を高める長期投資と積立投資についてお話ししました。
- 北里 長期と積立かあ、今日はいい話を聞いたね、桜子ちゃん！
- 津田 三郎君はいつもテスト前、一夜漬けで痛い目を見てるんだから、長期にコツコツ積み立てて勉強するのがいいんじゃない？
- 北里 ぎゃふん！
- とうしくん 今日の授業のおさらいだよ。
・金融商品の価格は上がったり下がったりするから、投資は**長い目（長期）で行うことが大切**
・少額でも**積立投資**をすることで将来的にまとまった資金をつくることのできる
・**ドル・コスト平均法**を活用すれば、1 株当たりの購入価格を下げる効果が期待できる
わかったかな。